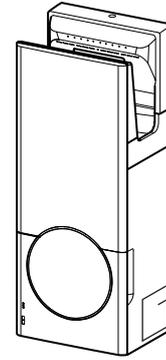




ハンドドライヤー **ジェットタオル**®
形名

- JT-SB116LH-W (簡易ヒーター付)
- JT-SB116MN-W (ヒーターなし)
- JT-SB216LSH-W (簡易ヒーター付)
- JT-SB216MSN-W (ヒーターなし)



形名表示位置
電源電圧表示位置

本体色 -W (ホワイト)

交流100V専用

交流100V専用

単相200V専用

単相200V専用

据付工事説明書

販売店・工事店様用

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。
- 電気工事は第二種電気工事士が行ってください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

1. 安全のために必ず守ること

- 図記号は次の通りです

	禁止		分解禁止		風呂・シャワー室での使用禁止		指示に従う
--	----	--	------	--	----------------	--	-------

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
	●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には据付けない 火災の原因になります		●配線工事は電気工事士の資格のある方が、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に 誤った配線工事は火災・感電のおそれがあります
	●塩害地域、腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所には据付けない 火災・感電の原因になります		●交流100Vで使用する (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)
	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、薬品をかけたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)		●単相200Vで使用する (JT-SB216LSH-W、JT-SB216MSN-W) 間違った電源を使用すると、火災・感電の原因になります
●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)		●コンセントで使用する場合、15A以上で単独とする (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)	
	●本説明書に記載されていない分解や改造はしない 火災・感電・けがの原因になります	●電源が専用配線の場合は単独配線とする 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります	
	●浴室など湿気の多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない 感電の原因になります	●漏電しゃ断器を必ず取付ける 感電するおそれがあります	

注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または
家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



●製品(電源ケーブル)に通電した状態で据付工事をしない
感電するおそれがあります



指示に従う

●本体の据付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によりけがをするおそれがあります
●据付けの際は手袋を着用する
着用しないとけがをするおそれがあります

2. 使用部品

同梱部品

取付ねじ(5×30タッピング1種) …… 6本 	取付板 …… 1個
固定ねじ(4×16) …… 1本 	コードクリップ …… 1個

一般市販品

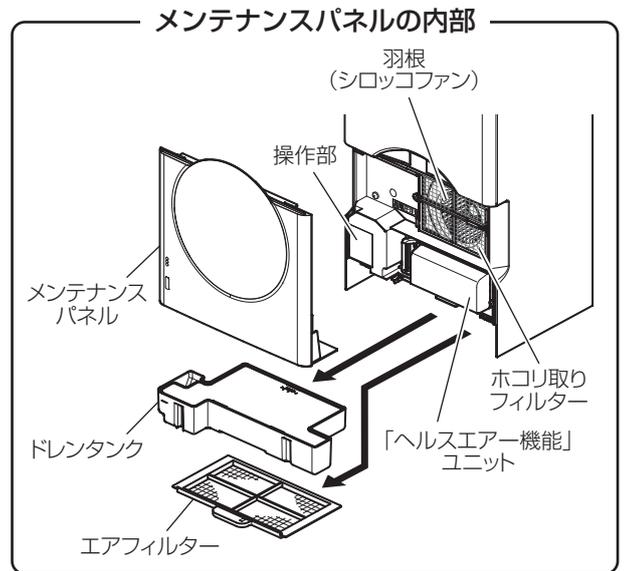
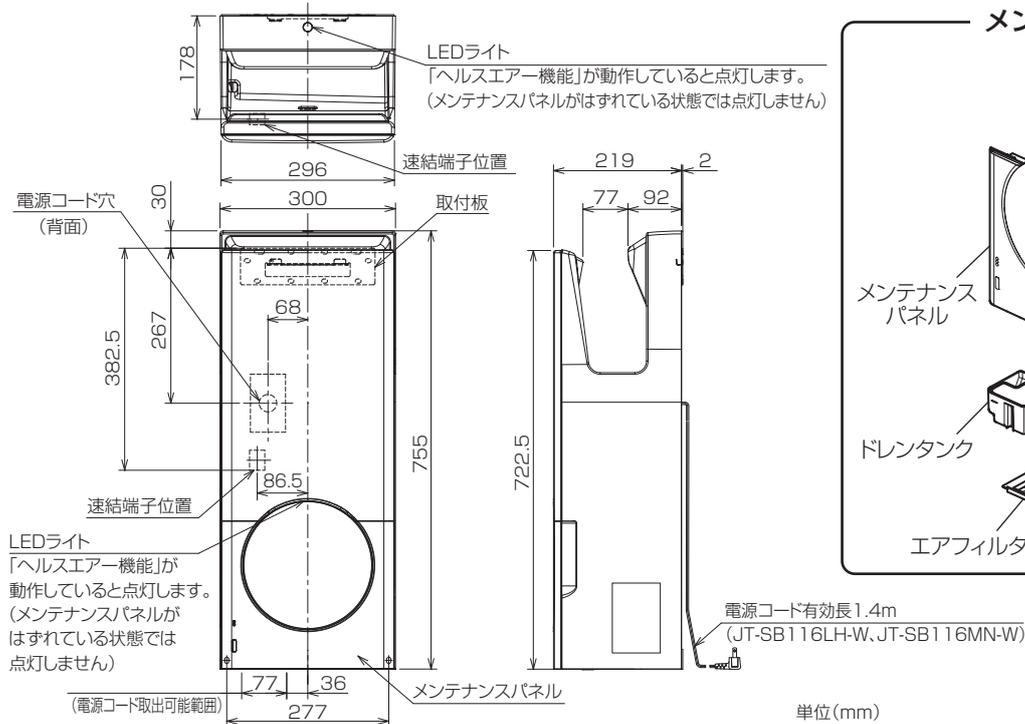
●スイッチボックス(JIS C 8340) …… 1個

別売品 (接続工事：ジェットタオル本体を固定する前)

ヒーターユニット(JP-110HU2-H) JT-SB116MN-W専用	1台
ヒーターユニット(JP-210HU2-H) JT-SB216MSN-W専用	1台
スタンド(JP-S21FS2-H)	1台
スタンド(JP-S06FS2-H)	1台
ヒーターユニット(JP-110HU2-H/JP-210HU2-H)との組み合わせ専用	1台
自動ドア連動回路ボックス(JP-100RD2)	1台

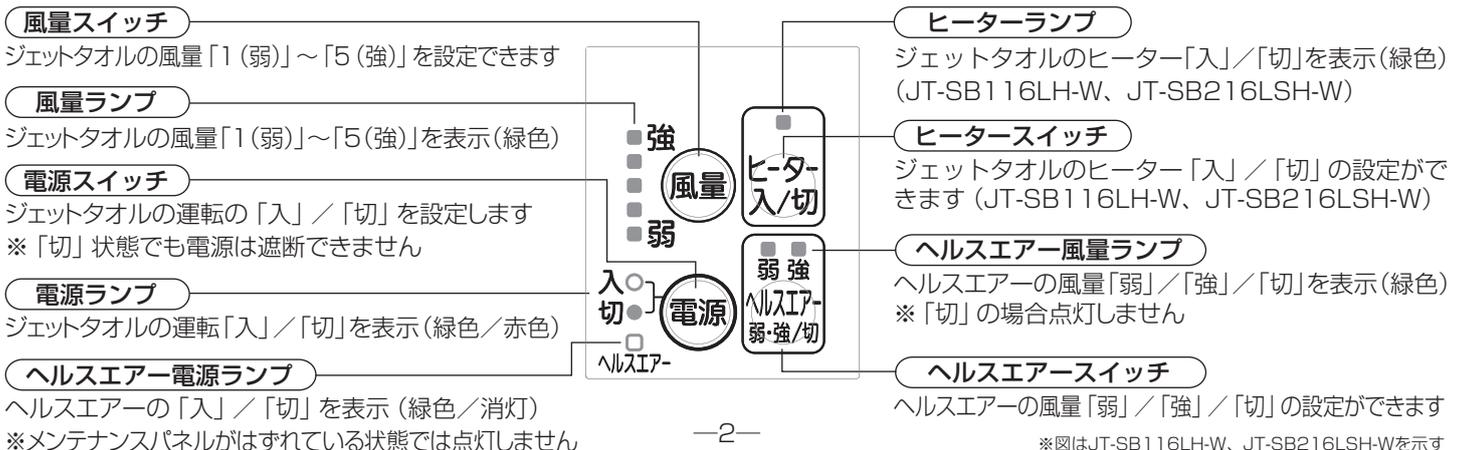
※詳しくは、JP-110HU2-H、JP-210HU2-H、JP-S21FS2-H、JP-S06FS2-H、JP-100RD2の据付工事説明書をお読みください。

3. 各部のなまえと外形寸法図



■ 操作部のはたらき

●電源ランプの運転「入」とヘルスエア電源ランプの「入」は高輝度ランプを採用しており、他のランプより明るく見えます



4. 据付場所の選定

■ 次のような場所に本体を据付けないでください。(故障の原因になります)

- ・屋外
- ・0℃未満になる場所
- ・40℃以上になる場所
- ・ほこりの多い場所
- ・結露する場所
- ・塩害地域
- ・日光、強い光が当たる場所 (センサーが誤作動するおそれがあります)
- ・乗りもの (船舶・航空機を含む)
- ・腐食性ガス、中性ガス、還元性ガスの存在する場所
- ・食材、食器等の近く
- ・厨房
- ・直接水がかかる場所
- ・消毒槽のある部屋、プール、浴室
- ・湿度が常時60%を超える場所
- ・床が常時濡れている場所
- ・湿度95%以上になる場所

■ 据付位置について

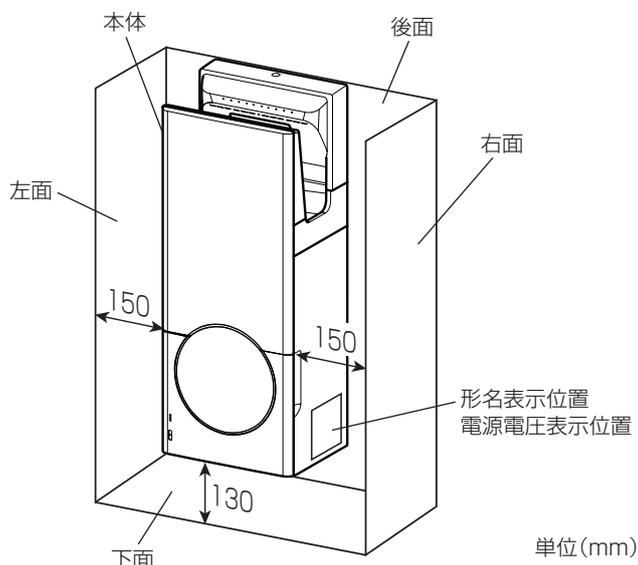
- 使用しやすいよう右図の位置に据付けてください。据付け高さが低いと床面掃除の際、水がかかりやすくなります。本体内部に水を吸い込んだ場合には、故障の原因や吸音材が吸湿して菌が繁殖する場合があります。
- 本体下部に床および障害物等がある場合は空きスペースを最低130mm以上あけてください。

注意 ● 下方130mm以上あげないと、ゴミや水を吸い込んで故障するおそれがあります。

- 本体左面にはドレン水路がありますので、左面と壁との間は必ず150mm以上あけてください。(左面は200mm以上あけると、ドレン水路をより清掃しやすくなります)
- 本体両側面は、風の吹き返しを抑えると共に、本体右面の形名表示、電源電圧表示が読めるように150mm以上あけてください。
- 本体側面の近くに壁および鏡などのないようしてください。手乾燥時、水滴が飛ぶことがあります。
- 人がぶつかり易い場所やドア等が当たる場所は避けてください。
- 製品を据付ける壁は、段差のない平らな場所を選び、据付けてください。コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。(板厚20mm程度の木の板を入れてください)
- 本体取付ねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長(ビット)は150mm以上のものを使用してください。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ねじプラグ(カールプラグ等)を使用して据付けてください。
- 水滴が飛ぶおそれがありますので、食材、食器等の近くには据付けないでください。
- スタンド(別売品)を用いて据付ける場合も、壁に沿って設置してください。

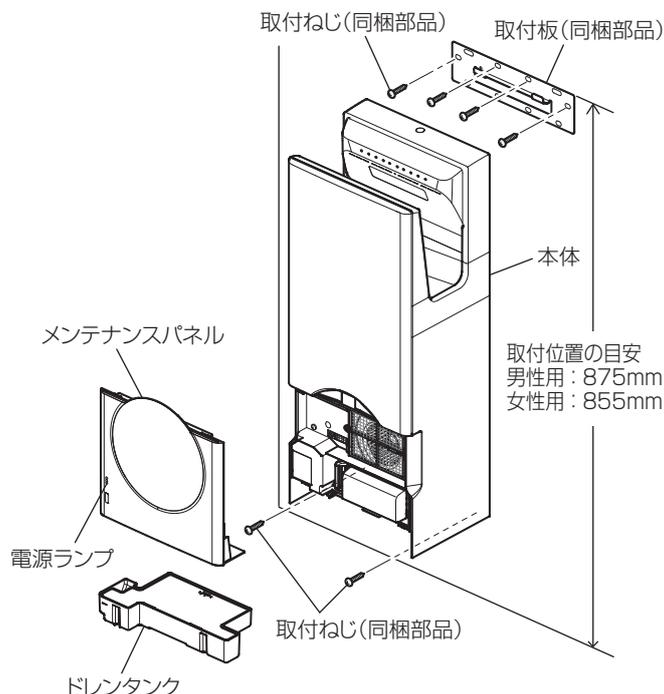
■ 離隔距離について

- 建物の壁面や燃えやすい物(可燃物)からの離隔距離は右表に掲げる数値以上の距離を保ってください。
※左面は200mm以上あけると、ドレン水路をより清掃しやすくなります。



場所	隔離距離
上方	開放
左方	150mm
右方	150mm
前方	開放
後方	—
下方	130mm

■ 取付要領図



5. 据付方法 コンセントを使う場合と専用配線工事をする場合があります。

JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W	JT-SB216LSH-W、JT-SB216MSN-W
交流100Vを使用：コンセントまたは専用線で配線	単相200Vを使用：専用線で配線

コンセントを使う場合 (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)

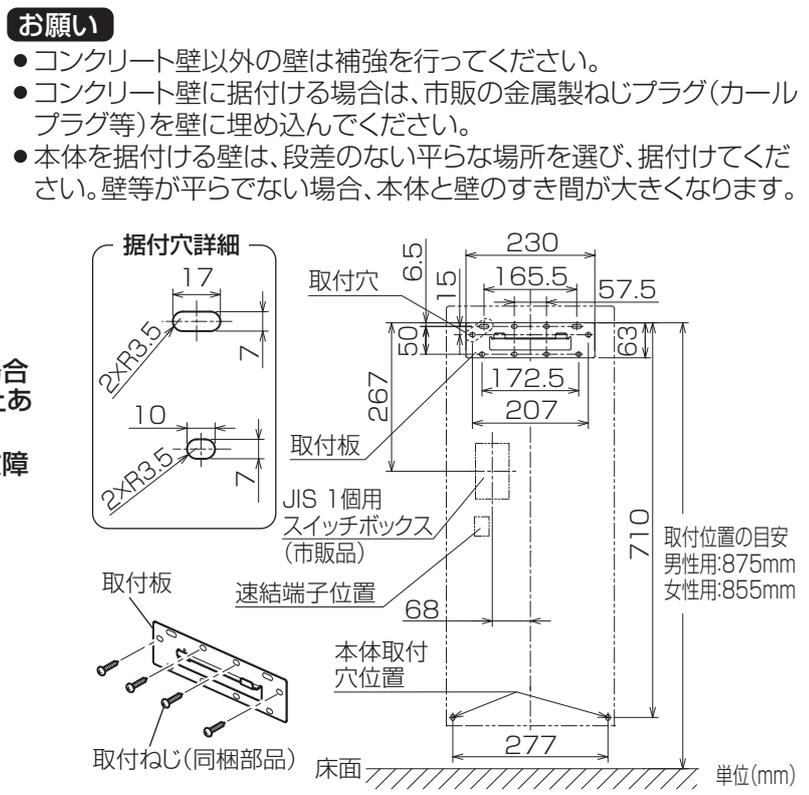
警告

- **交流100V** で使用する
間違った電源を使用すると火災・感電の原因になります

1 取付板を同梱の取付ねじ (5×30) 4本で壁に固定する。

- 右図に示す取付ねじの位置は推奨です。

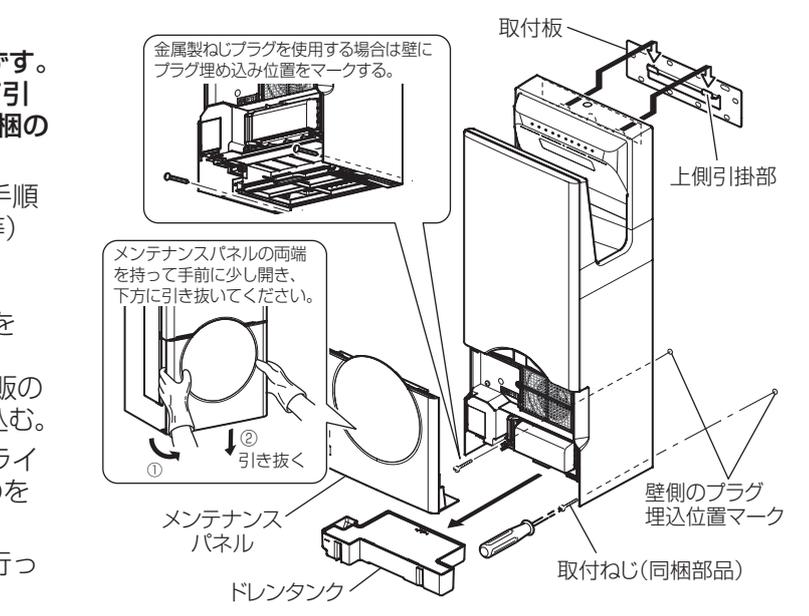
注意 ● 本体下部に床および障害物等がある場合は、空きスペースを最低130mm以上あけてください。
ゴミや水などを吸い込むと、本体が故障するおそれがあります。



2 本体を壁に固定する。

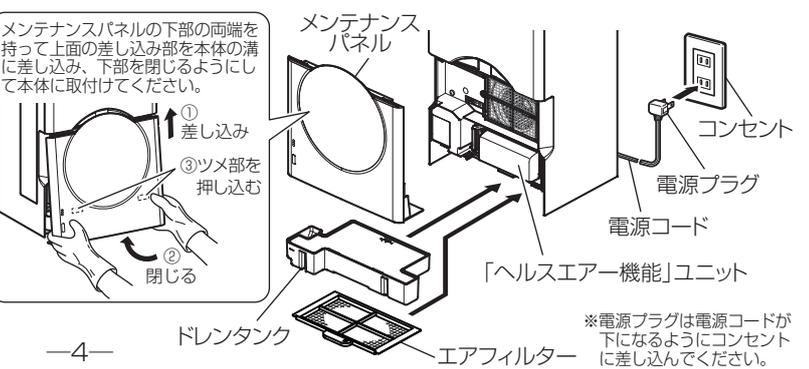
1. メンテナンスパネルとドレンタンクを取りはずす。
2. 本体を取付板の引掛部 (2か所) に合わせて引掛け、本体を壁側に軽く押し付けながら同梱の取付ねじ (5×30) 2本で固定する。

- コンクリート壁に据付ける場合は、下記の手順で市販の金属製ねじプラグ (カールプラグ等) を使用して据付けてください。
 - ① 取付板に本体を仮置きする。
 - ② 取付ねじの穴からペンなどで壁に穴位置をマーキングする。
 - ③ 本体を取りはずし、マーキングした位置に市販の金属製ねじプラグ (カールプラグ等) を埋め込む。
- 同梱の取付ねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長 (ビット) は150mm以上のものを使用してください。
- コンクリート壁以外の壁への固定は補強を行った上で据付けてください。



3

1. 「ヘルスエアー機能」ユニットが取付けられているか確認する。
2. エアフィルターが奥まで入っているか確認する。
3. ドレンタンクとメンテナンスパネルを元どおり取付ける。
4. 電源プラグを専用コンセント (交流100V) に接続する。



—4— ※電源プラグは電源コードが下になるようにコンセントに差し込んでください。

据付方法 つづき

専用配線工事の場合

■電源ケーブルは単線Φ2またはΦ1.6のVVFケーブルを使用してください。

警告

- 交流100Vで使用する (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)
 - 単相200Vで使用する (JT-SB216LSH-W、JT-SB216MSN-W)
- 間違った電源を使用すると火災・感電の原因になります

注意

- 製品 (電源ケーブル) に通電した状態で据付工事をしない
- 感電するおそれがあります

お願い

- コンクリート壁以外の壁は補強を行ってください。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ねじプラグ (カールプラグ等) を壁に埋め込んでください。
- 本体を据付ける壁は、段差のない平らな場所を選び、据付けてください。壁等が平らでない場合、本体と壁のすき間が大きくなります。

1. 配線工事をする

据付位置にスイッチボックス (JISC 8340) を埋め込み、電源ケーブルを配線する。

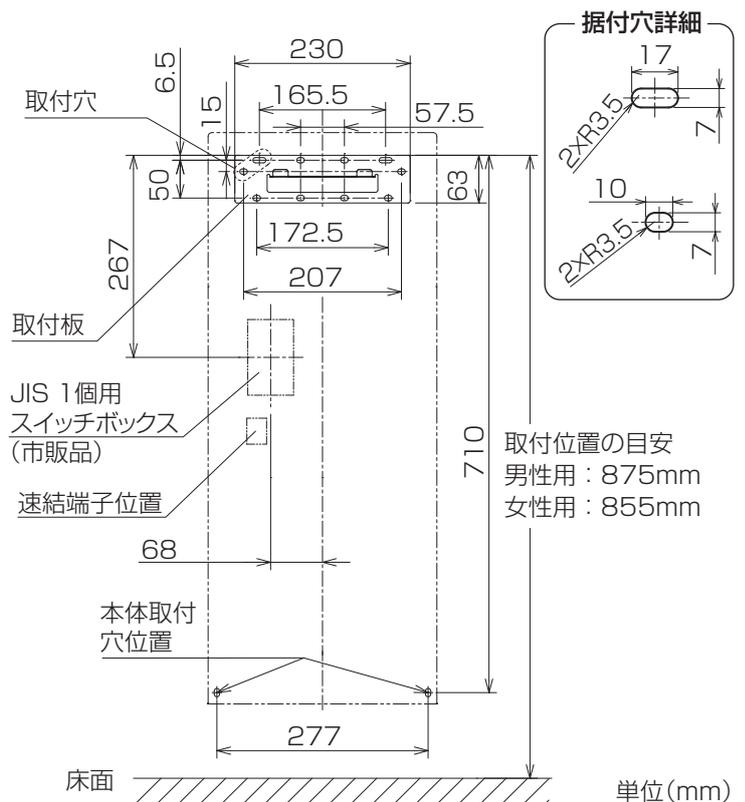
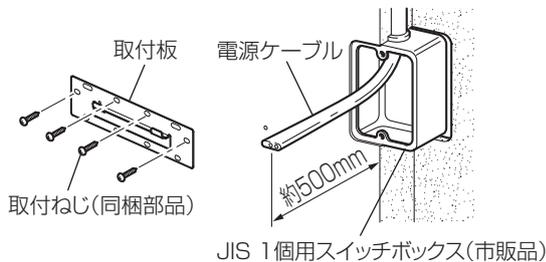
- スイッチボックスを使用しないと、電源ケーブルが本体を押し出してうまく据付けられません。

注意 ●本製品にはアース接続をしないでください。誤動作や故障の原因になります。

2. 取付板を同梱の取付ねじ (5×30) 4本で壁に固定する。

- 下図に示す取付ねじの位置は推奨です。

注意 ●本体下部は空きスペースを最低130mm以上あけてください。ゴミや水などを吸い込むと本体が故障するおそれがあります。

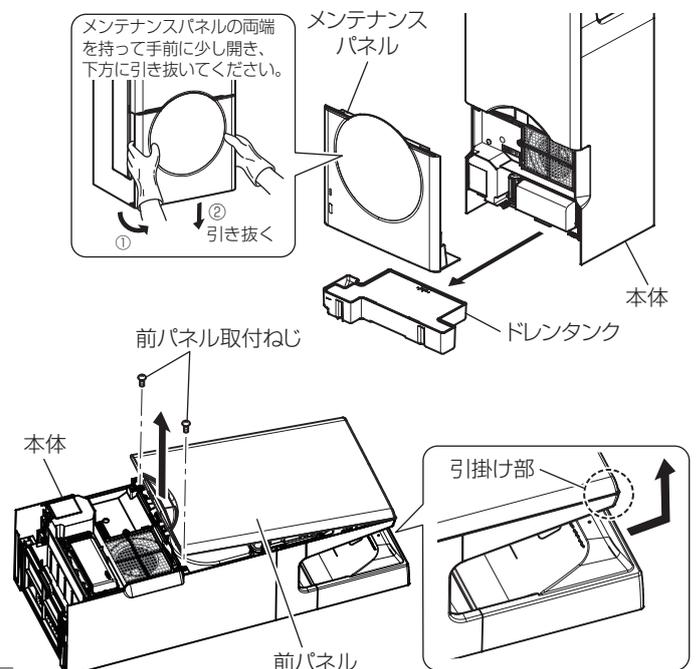


1. メンテナンスパネルをはずしてドレンタンクを取りはずす

2. 前パネルを取りはずす

- ①前パネル取付ねじ (2本) をはずす。
- ②前パネル下部を少し持ち上げる。
- ③前パネル上部を本体の引掛け部からはずし、前パネルを取りはずす。

注意 ●前パネルの下部を無理に持ち上げないでください。前パネルや本体引掛け部が破損するおそれがあります。

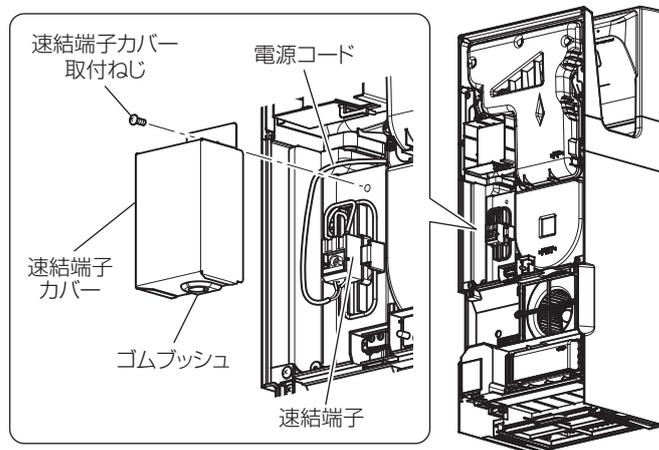


3

速結端子カバーを取りはずす

速結端子カバー取付ねじ(1本)をはずし、速結端子カバーを手前に引き出す。

※ゴムブッシュはなくさないでください。



4

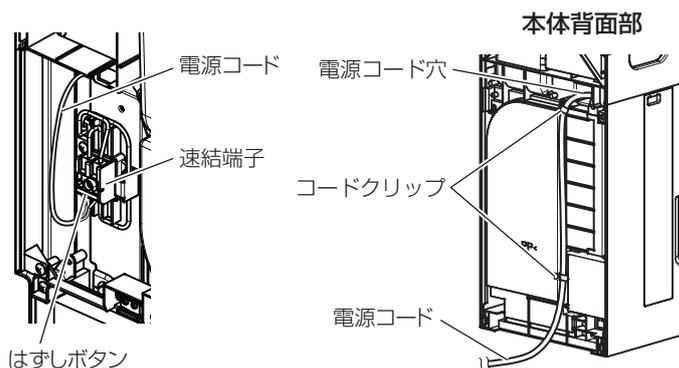
JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W

速結端子に接続されている電源コードをはずす

①速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながら電源コードを引張ってははずす。

注意 確実にはずしボタンを押ししてください。無理に引張ると速結端子が壊れるおそれがあります。

②本体背面のコードクリップをはずし、電源コードを引き抜く。(上下2か所)

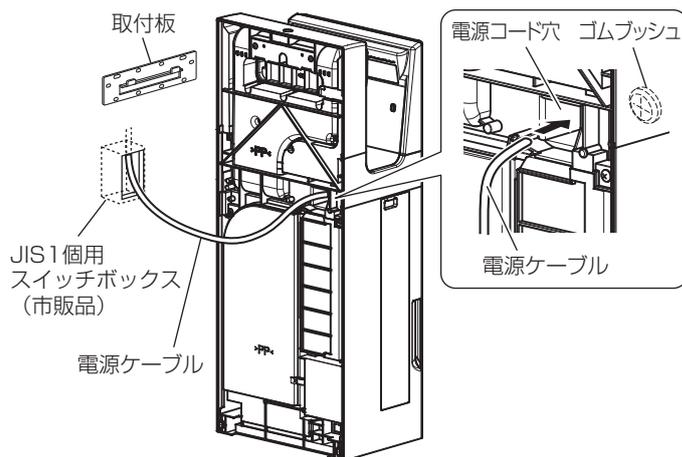


5

専用配線の電源ケーブルを本体内に引き込む

本体背面の電源コード穴に、専用配線の電源ケーブルを通す。

注意 ゴムブッシュが確実に取付いているか確認してください。



6

本体を壁に固定する

本体を取付板の引掛部(2か所)に合わせて引掛け、本体を壁側に軽く押し付けながら同梱の取付ねじ(5×30)2本で固定する。

●コンクリート壁に据付ける場合は、下記の手順で市販の金属製ねじプラグ(カールプラグ等)を使用して据付けてください。

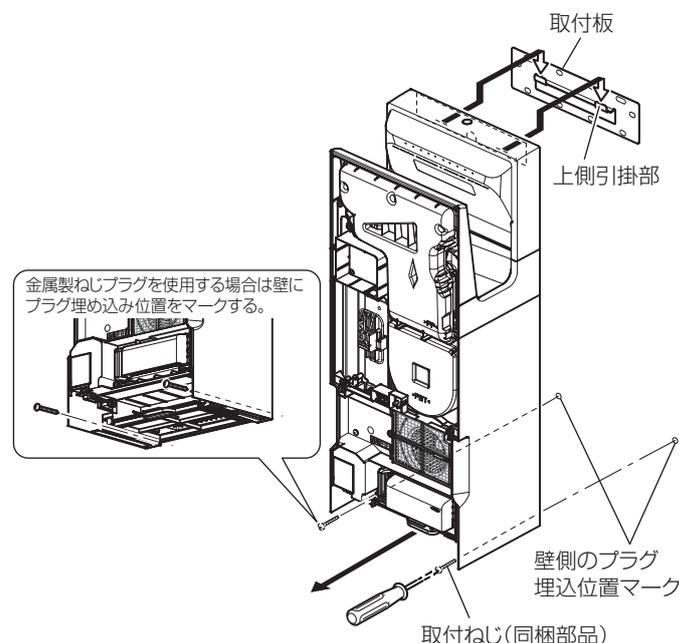
①取付板に本体を仮置きする。

②取付ねじの穴からペンなどで壁に穴位置をマーキングする。

③本体を取りはずし、マーキングした位置に市販の金属製ねじプラグ(カールプラグ等)を埋め込む。

●付属の取付ねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長(ビット)は150mm以上のものを使用してください。

●コンクリート壁以外の壁への固定は、補強を行った上で据付けてください。

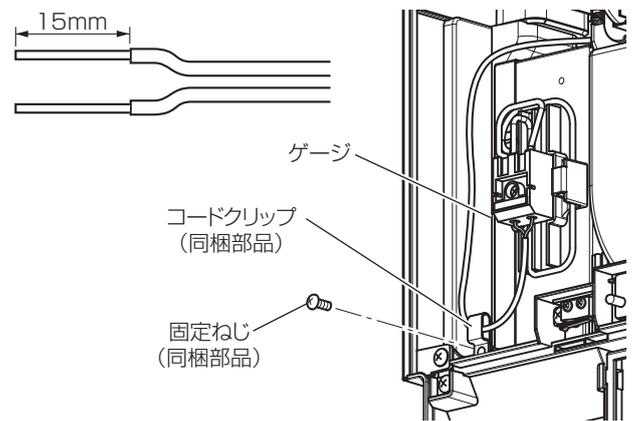


1. 速結端子に結線する（極性なし）

- ①速結端子にあるゲージに合わせて、電源ケーブルの被ふくを15mm皮むきする。
- ②同梱のコードクリップを専用配線に通す。
- ③電源ケーブルを速結端子に確実に差し込む。
- ④速結端子への結線が確実に差し込まれているか確認する。

- 電源ケーブルは必ず単線のものを使用してください。
- より線をハンダ付けして速結端子に差し込まないでください。（火災・感電・故障の原因になります）

お願い ●本製品にはアース接続をしないでください。誤動作や故障の原因になります。

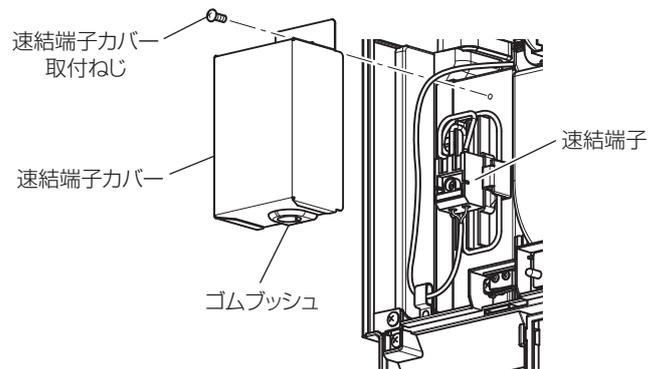


2. コードクリップ固定ねじ穴を使用し、同梱のコードクリップ、固定ねじ（4×16）1本で電源ケーブルを固定する

速結端子カバーを取付ける

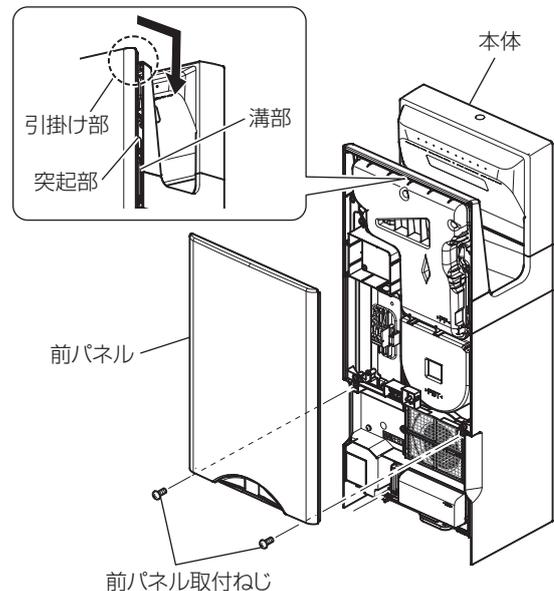
- ①電源ケーブルをゴムブッシュに通して、速結端子カバー取付ねじで元どおり本体に取付ける。
- ②電源ケーブルおよび電線をはさみ込んでいないことを確認する。
- ③速結端子カバーが隙間なく取付けられているか確認する。

- 速結端子カバーの表面（手前側）に電源ケーブルがあると、前パネルが取付けられません。速結端子カバーの左側へ電源ケーブルを移動してください。



1. 前パネルを取付ける

- ①前パネル上部を本体の引掛け部に引掛ける。
- ②前パネル側面の突起部と本体側面の溝部をはめ込む。
- ③ねじ部と本体固定部を合わせる。
- ④はずした前パネル取付ねじ（2本）で元どおり本体に取付ける。
- ⑤前パネルが確実にハマっていることを確認する。

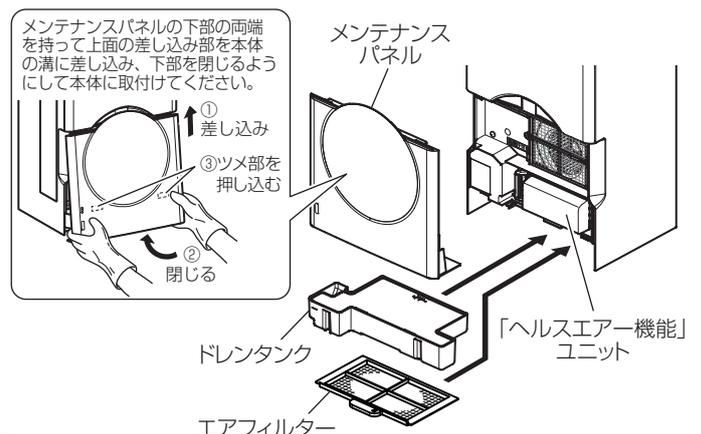


2. 「ヘルスエア機能」ユニットが取付けられているか確認する

3. エアフィルターが奥まで入っているか確認する

4. ドレンタンクを元どおり取付ける

5. メンテナンスパネルを元どおり取付ける



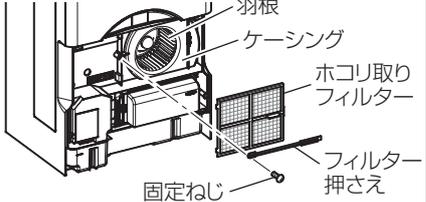
6. 据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

項目	確認内容	チェック
1 配線工事	電気設備技術基準・内線規程に従っていますか？(火災の原因になります)	
2 本体の固定	十分強度のあるところに確実に固定されていますか？(けがや故障の原因になります)	
3 電源電圧を確認する	正しい電源を使用していますか？(間違った電源を使用すると、火災・感電の原因になります) (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W：交流100V) (JT-SB216LSH-W、JT-SB216MSN-W：単相200V)	
4 アース接続禁止	アースを接続していないかを確認してください。(誤動作・故障の原因になります)	
5 ドレンタンク・エアフィルター	確実に取付けられていますか？(故障の原因になります)	

7. 試運転

お客様立会いで試運転を行ってください。

手順	確認内容	チェック
1 電源電圧を確認する	<ul style="list-style-type: none"> 正しい電源を使用していますか？ (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W：交流100V) (JT-SB216LSH-W、JT-SB216MSN-W：単相200V) 間違えると故障の原因になります アース線を接続していないことを確認してください。 	
2 電源プラグをコンセントに差し込む または漏電遮断器を「入」にする	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグは確実に差し込まれていますか？ (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W) 操作部の電源ランプが赤色に点灯していますか？ 	
3 メンテナンスパネルを取りはずして、操作部の電源スイッチを押し、電源を「入」にする	<ul style="list-style-type: none"> 操作部の電源ランプが緑色に点灯していますか？ 	
4 手を入れて乾かす	<ul style="list-style-type: none"> 風が吹き出していますか？ 	
5 風量を切り替える ・風量スイッチを押し、風量を1～5段階に切替えることができます	<ul style="list-style-type: none"> お好みの風量の風量ランプが緑色に点灯していますか？ 風量は風量ランプの点灯する数で確認できます。 手挿入部に手を入れ、風量が切り替わったことを確認してください。 	
6 ヒーターを設定する ・ヒータースイッチを押し、ヒーターを「入」にする (JT-SB116LH-W、JT-SB216LSH-W)	<ul style="list-style-type: none"> 温風は吹き出していますか？ (室温が30℃以上の場合、「ヒーター」を押してもヒーターは動作しません) ※簡易ヒーターのため、室温が20℃以下の場合、温風感が損なわれます。 	
7 ヘルスエアーを設定する ・ヘルスエアースイッチを押し、ヘルスエアーの風量を「弱」、「強」、「切」に切替えることができます	<ul style="list-style-type: none"> お好みの風量のヘルスエアー風量ランプが緑色に点灯していますか？ メンテナンスパネル取付け後、本体下部吹き出し口から風が吹き出していますか？ メンテナンスパネル取付け後、ヘルスエアー電源ランプが緑色に点灯していますか？ 	
8 メンテナンスパネルを取付ける	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスパネル上面の差し込み部が確実に本体に差し込まれていますか？(メンテナンスパネルが確実にハマっていないと、「ヘルスエアー機能」搭載循環ファンの電源が入りません。) 	
9 本体の据付けが確実で、運転中に振動や異常音がしていないか確認する	<ul style="list-style-type: none"> 羽根がケーシングに接触していませんか？ <p>以下の手順を実施してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 固定ねじ、フィルター押さえをはずしてホコリ取りフィルターを取りはずす。 羽根を本体奥側に押し込む。 ホコリ取りフィルターを固定ねじ、フィルター押さえで元通りに取付ける。 	

※手を入れた状態や、手挿入部に異物が入った状態で、電源スイッチを押し「入」にしないでください。
 ※表示部の風量ランプが点滅状態のときは、いったん電源スイッチを押し「切(電源ランプ(赤色)点灯)」にしてから10秒経過後、再度電源スイッチを押し「入(電源ランプ(緑色)点灯)」にしてください。
 ※電源投入後(漏電遮断器「ON」後)、10秒間スイッチの操作が行われないと、自動的に風量ランプ、ヒーターランプ、ヘルスエアー風量ランプが消灯します(省エネのため)。

8. お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。
とくに「1.安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、引越など製品を移動する際に必要となりますので、据付け後お客様にお渡しください。
なお同梱の取扱説明書および保証書も必ずお客様にお渡しください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー、ゼネコン)や管理人などに説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。